

**WINET ワイン会、毎月開催で 240 回
20 周年記念ワイン会を開催**

ワイン会、毎月続けて 20 年

1998 年 5 月にワイン会はスタートしました。毎月欠かさずに開催し、この度 2018 年 5 月 15 日、20 周年を迎えました。20 周年記念ワイン会の舞台となったのは、恵比寿ガーデンプレイスにあるシャトーレストラン「ラ ターブル ドゥ ジョエル・ロブション」。ゲストとして、野村信美様（能楽師・人間国宝 野村四郎様夫人）や落語家の三遊亭竜楽師匠、作家の鳴神響一様をお迎えし、メンバーを含め 84 名で行われました。

このワイン会の名称は WINET（ワイネット）。ワインを楽しみながら異業種交流をしようということで名付けたネーミングです。WINET はワインを究めるワイン会ではなく、ワインと料理のマリアージュ、そしてメンバーとの交流によって、共に人生を楽しむことを目的としたワイン会です。メンバーにはソムリエやワインエキスパートなどワインに詳しい人もいらっしゃいますが、ワインの知識がなくても、安心して参加できるのが WINET のよいところです。

毎月、継続して開催していることも WINET の特徴です。開催頻度が高いので、多くのメンバーと知り合えます。良質なワインサークルのようです。WINET には様々な分野で活躍している人が集まります。会社経営者、医師、弁護士、ビジネスパーソンから、画家、音楽家というアーティストまで集います。前向きで社交的な人ばかりです。有名なレストランで行いますので、ワイン会に参加するだけで普段とはちょっと違う非日常の経験ができるのも魅力です。WINET での出会いをきっかけに人生や仕事が成功したという人も多くいます。単なる、ワインの飲み会ではない、人生を向上させる不思議なパワーが宿る集まり。これが「人間を磨く感動のワイン会」といわれている所以です。

ワイン会をテーマに本を出版

「WINET という素晴らしいワイン会がある」との評判からワイン会をテーマに執筆して欲しいとの依頼をいただきました。こうして 2016 年 11 月『人間を磨く感動のワイン会～人生のソムリエ®が発見したワインは人生成功のための魔法のお酒』は出版されました。ワイン会をテーマとして取り上げた日本初の本ということもあり話題になりました。

私はこの本の中で、220 回（当時）の連続開催を通じて得た経験やエピソードをもとに

- ① ワイン会に参加することが人生成功の近道であること
- ② なぜワイン会には成功者が集まるのかということ

③ 具体的なワイン会開催ノウハウ、ワイン会の詳細なレポートなど、できるだけ詳しく記載しました。今でもコツコツと売れ続け、現在では第2刷となりました。

20周年記念ワイン会

20周年記念ワイン会では、ラ ターブル ドゥ ジョエル・ロブションのフルコースの料理にワイン6種類。うち、メインの赤ワインはサンテミリオンとポマールの1998年ヴィンテージをご用意しました。1998年はワイン会をスタートした年です。20年熟成されたワインは初めてというメンバーも多く、熟成による仄かなトリュフを思わせる香りや、まろやかでありながら、しっかりとした味わいに驚きの声が沸き上がりました。

毎月のWINETでは、参加者全員にスピーチをお願いしています。テーマは自由で趣味や仕事のこと、近況報告などお話しいただきます。これにより、お互いをよく知ることができ、ワイン会はさらに盛り上がります。

今回の20周年記念ワイン会は「継続」がテーマでした。最初に主宰者の私から、ワイン会のメンバーやレストランのご協力への感謝の意を伝え、継続することの大切さ、私が創作したワイン格言“Good Wine makes Good Life”についてお話させていただきました。その後、WINET名誉会長の志田信男先生（東京薬科大学名誉教授）のご挨拶。建築家の由里知久さんによる乾杯、池田欣正シェフによるメニューの説明、剣持春夫マスターソムリエのワイン解説と続きました。

人数上、参加者スピーチはゲストと参加回数の多いメンバーを中心にお願いしました。ゲストの野村四郎様の奥様、野村信美様には、能楽という伝統文化を受け継ぐ家としての特別なお話をいただきました。

10名のスピーチの後、最後に登場した道明寺真琴さんは、当日ご自身のコンサートから直行し華やかなステージ衣装でWINETに参加。オペラ椿姫の『乾杯の歌』を熱唱していただきました。このあと「シャンソンを習っている坂間さんも歌っては？」という無茶振りもあり、予定にはなかったのですが、サルバトーレ・アダモの『愛は君のように』を歌うというサプライズもありました。

しばらくの歓談ののち、スペシャル口演として8か国語を駆使する国際派落語家・三遊亭竜楽師匠による、お酒にまつわる洒落なお話をいただき盛り上がりは最高潮に達しました。

最後は、WINETに通算200回近くも参加してくださっている白石和光さんに、感謝の意を込めて1998年ヴィンテージのシャトーボーセジュールを贈呈し中締めとなりました。

WINETはこれからも続けます

WINETは毎月40名前後の参加者をお迎えし開催しています。メンバーの紹介による新しい仲間も増え続けています。なぜ毎月開催し続けられるのかとよく質問を受けますが、ま

ず主宰している私自身が楽しいこと。また、ワイン会に参加いただくことで、多くのメンバーの Good Life（人生の質の向上）に貢献しているという実感があるから継続できるのだと思います。

これからも WINET は続けてゆきます。多くの人にワインの楽しさを知っていただくことで、豊かな人生を送っていただきたい。ワイン文化を普及、発展のために貢献したいと思っています。

連絡先

WINET www.winet-sakama.jp